

令和7年度版 献血のあゆみ



日本赤十字社 三重県赤十字血液センター
Japanese Red Cross Society

令和7年度も、三重県民の皆さま、三重県を訪問された皆さま、各所関係機関の皆さま、そして献血にご協力くださったお一人おひとりに、心より御礼申し上げます。献血は、いつ起こるかわからない病気やけが、そして治療を待つ患者さんの「今」に応える、かけがえのない支えです。私たち三重県赤十字血液センターは、この尊い善意を確かな血液製剤として安全にお届けするため、職員一同、日々努めております。

私はこれまで脳神経外科医として大学病院に勤務し、特に緊急手術や特殊手術において、貴重な血液製剤に支えられてきました。大学病院勤務の頃、休日には、昔の人々の暮らしに思いを巡らせることが、私にとってのささやかな息抜きでした。人々が何を考え、どのように支え合っていたのかを想像していると、テレビなどでそのイメージに近い風景に出会い、「That's it. (それです)」とつぶやいたこともありました。ここで、その思い出の一端をご紹介します。

人は古くから、困難に直面したとき「ひとりでは抱えきれないこと」を、互いに助け合うことで乗り越えてきました。例えば、稲作が日本列島に伝わり始めた頃、家族や一族単位で稲作が行われていました。病に倒れた人を助けるために、近隣の人々が田の手入れを手伝い、その家族を支えたこともあったでしょう。助ける側にとっても、それは達成感や幸せを感じる経験であり、「力を持ち寄れば暮らしを守れる」という実感につながったはずです。助ける人と助けられる人は、明日には入れ替わるかもしれない。だからこそ、支え合いは特別な行為ではなく、共同体の知恵として自然に受け継がれていったのです。こうした積み重ねが、やがて現代の稲作、そして社会の基盤へとつながっていったとも言えるでしょう。

赤十字の精神は、まさにこの「困っている人を助けたい」という人道の心に根ざしています。献血は、見知らぬ誰かの苦しみを自分事として捉え、行動に移す「現代の助け合い」です。今日のあなたの献血が、明日の医療を支え、命のバトンをつなぎます。

今後も、安定供給と安全対策の一層の徹底に努めるとともに、若い世代をはじめ多くの皆さまに献血をより身近に感じていただけるよう、広報・普及啓発や受入体制の充実を進めてまいります。

今後とも、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年7月吉日

三重県赤十字血液センター
所長 松原 年生



生成 AI で作成したイメージ図です

・はじめに	p. 1
・統計	
三重県の献血状況～献血から供給まで～	p. 2
三重県の献血者数の推移、三重県の輸血用血液製剤供給の推移	p. 3
三重県の年代別献血者数の推移	p. 4
三重県の市町別献血状況	p. 5
三重県の居住地別献血状況	p. 6
・表彰	p. 7
・キャンペーン・イベントなど	p. 9
・献血基準と検査成績のお知らせ	p.11
・沿革	p.12

三重県の献血状況 ～献血から供給まで～

受付
68,126人

対R6年度比 98.8%

事前検査

献血者数
63,356人

対R6年度比 99.3%

製剤・検査

検査

製剤

製品化

血液供給
(県内)
174,286単位

対R6年度比 98.8%

献血ができなかった人 **4,770人**

対受付者数 7%

	男性	女性	計	対R6年度比
Hb ^{※1} 不足	563	1,378	1,941	80.7%
その他	1,653	1,176	2,829	104.7%
計	2,216	2,554	4,770	93.4%

献血初回数者数 : 3,276人 (対実献血者 11%)

実献血者数 : 29,868人 (1年間に献血1回→16,898人、2回→7,445人、3回以上→5,525人)

【県内】延献血者は、県民総人口の3.7% 実献血者は、県民総人口の1.7%

【全国】延献血者は、国民総人口の約4.0%

種類別献血者数

種別	全血献血		成分献血			合計
	400mL	200mL	血漿成分	血小板成分	成分計	
献血者数	37,966	291	15,929	9,170	25,099	63,356
献血構成比	59.9%	0.5%	成分構成比 ^{※2} ⇒ 63.5%	36.5%	39.6%	100%

施設別献血者数

施設種類	献血バス	血液センター	四日市ルーム	伊勢ルーム	合計	対R6年度比
400mL	24,269	3,710	6,486	3,501	37,966	99.7%
200mL	0	34	234	23	291	117.3%
成分	0	8,129	10,337	6,633	25,099	98.5%
合計	24,269	11,873	17,057	10,157	63,356	99.3%
対R6年度比	98.8%	102.5%	98.7%	97.8%	99.3%	

成分内訳	血漿成分	5,188	6,721	4,020
	血小板成分	2,941	3,616	2,613
	計	8,129	10,337	6,633

検査不合格内訳^{※3}

梅毒抗体	HBS抗原	HBC抗体	HCV抗体	肝機能	不規則抗体	その他
29	17	49	25	428	30	302

原料血漿送付内訳

血漿製剤	合計
目標量(%)	16,828
送付量(%)約	17,727
達成率	105.3%

輸血用血液内訳(200mL換算)^{※4}

製剤種類	供給単位	対R6年度比
赤血球製剤	56,976	93.6%
血漿製剤	20,215	91.6%
血小板製剤	97,095	103.9%
合計	174,286	98.8%
(県内供給)		

※1 Hbとは血色素量のことをいう。

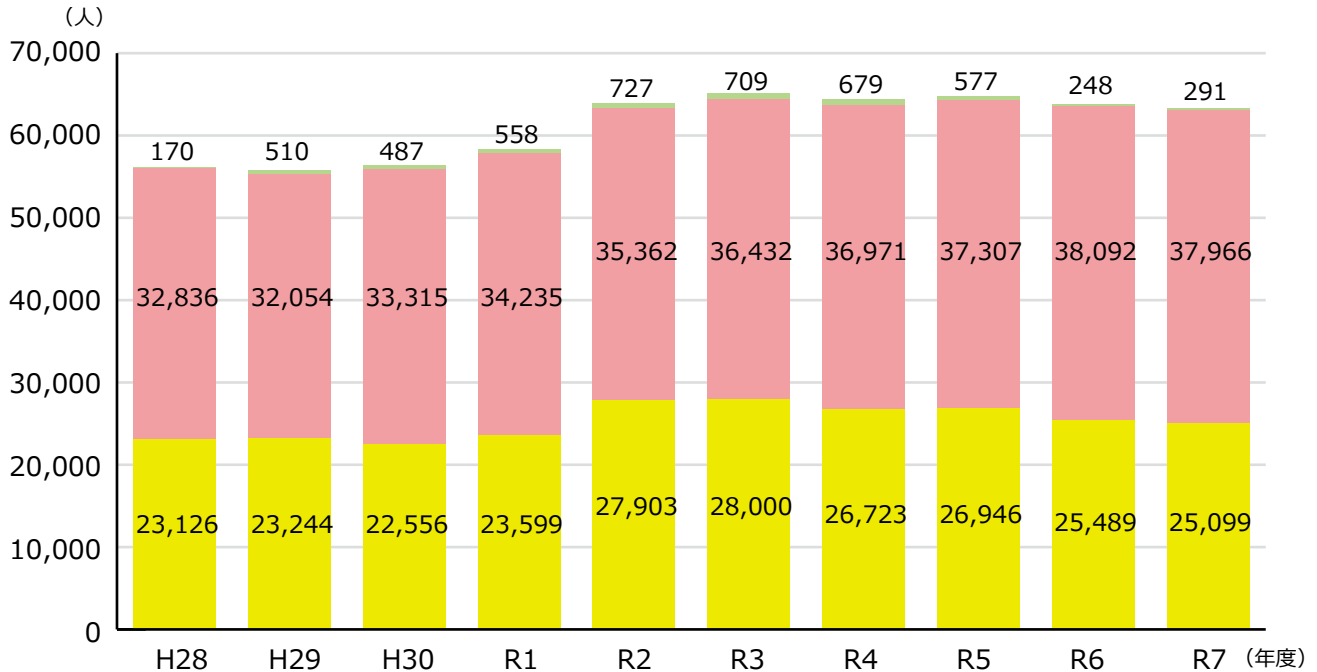
※2 成分構成比は端数処理しているため、合計が必ずしも100%にはならない。

※3 複数項目該当者あり。

※4 H29年度から血漿製剤の単位換算は、FFP-LR120を1単位、FFP-LR240を2単位、FFP-LR480を4単位として算出。

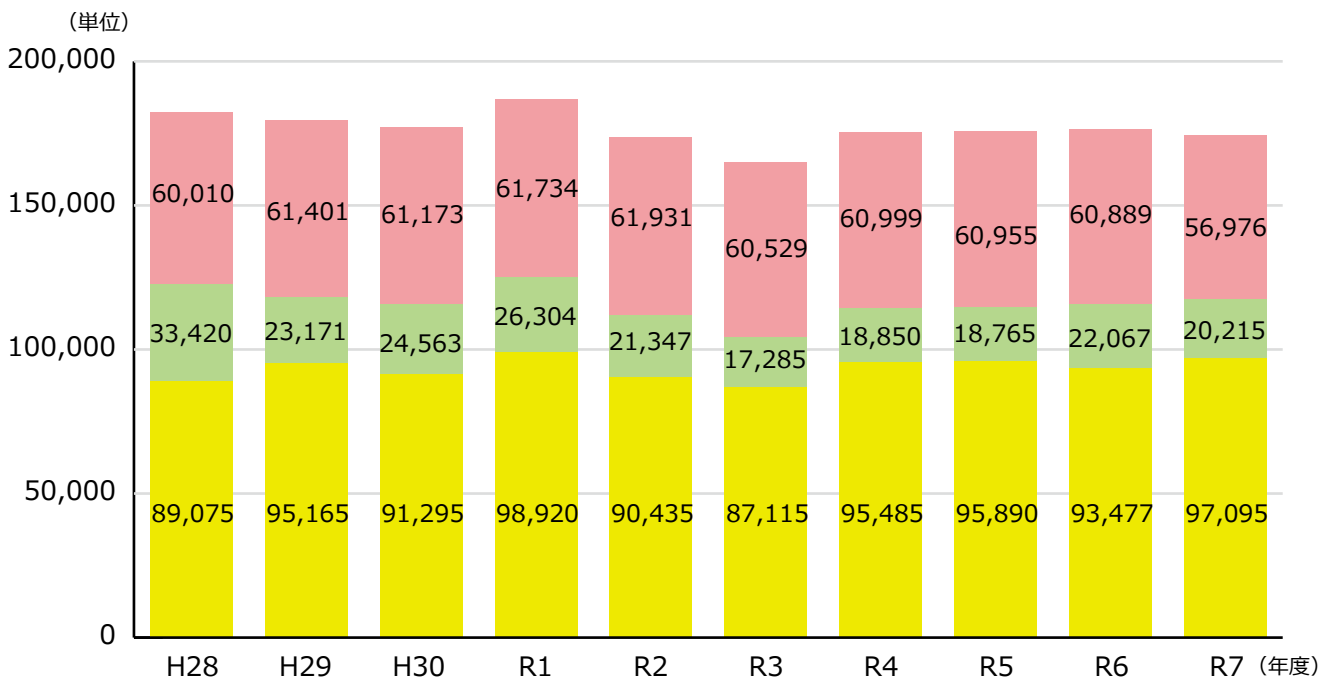
●三重県の献血者数の推移

採血の種類 \ 年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
200mL献血	170	510	487	558	727	709	679	577	248	291
400mL献血	32,836	32,054	33,315	34,235	35,362	36,432	36,971	37,307	38,092	37,966
成分献血	23,126	23,244	22,556	23,599	27,903	28,000	26,723	26,946	25,489	25,099
合計	56,132	55,808	56,358	58,392	63,992	65,141	64,373	64,830	63,829	63,356



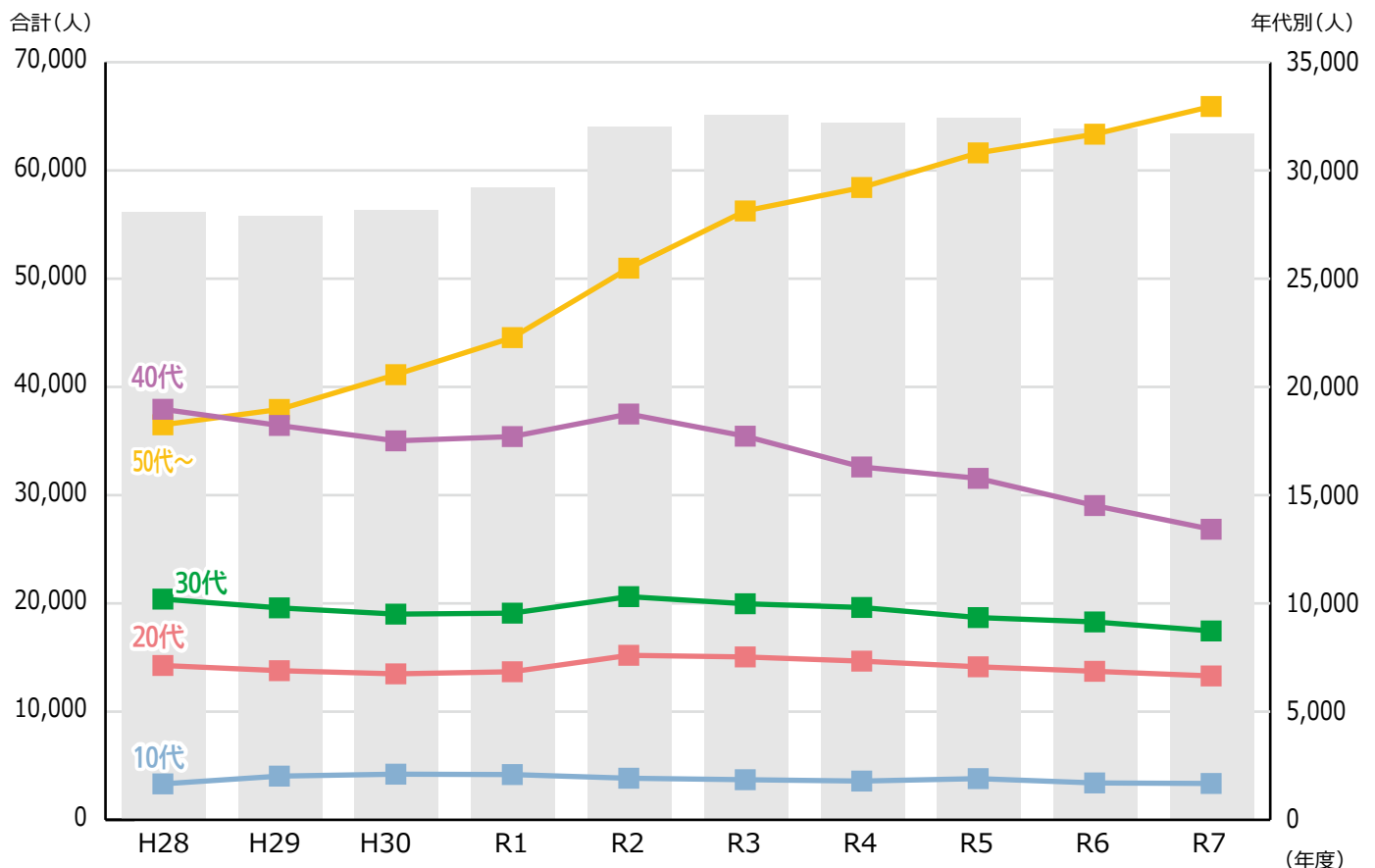
●三重県の輸血用血液製剤供給の推移

採血の種類 \ 年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
赤血球製剤	60,010	61,401	61,173	61,734	61,931	60,529	60,999	60,955	60,889	56,976
血漿製剤	33,420	23,171	24,563	26,304	21,347	17,285	18,850	18,765	22,067	20,215
血小板製剤	89,075	95,165	91,295	98,920	90,435	87,115	95,485	95,890	93,477	97,095
合計	182,505	179,737	177,031	186,958	173,713	164,929	175,334	175,610	176,433	174,286



●三重県の年代別献血者数の推移

採血の種類 \ 年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
16-19歳	1,646	2,005	2,095	2,077	1,907	1,839	1,776	1,889	1,690	1,665
20-29歳	7,116	6,876	6,729	6,827	7,586	7,511	7,317	7,055	6,847	6,632
30-39歳	10,183	9,778	9,489	9,534	10,297	9,968	9,796	9,329	9,128	8,711
40-49歳	18,952	18,204	17,494	17,691	18,733	17,709	16,287	15,760	14,504	13,408
50-69歳	18,235	18,945	20,551	22,263	25,469	28,114	29,197	30,797	31,660	32,940
合計	56,132	55,808	56,358	58,392	63,992	65,141	64,373	64,830	63,829	63,356



●少子高齢社会を迎えて

輸血用血液製剤や血漿分画製剤の多くは高齢者の医療に使われており、全国的にも輸血用血液製剤を使用されている方の多くが50歳以上の方々になります。

一方で、献血にご協力いただいている方々は50代の割合が高く、この世代が輸血医療を大きく支えている状況です。

若年層（10～30代）の献血者数は減少傾向にあります。日本の少子高齢化が今後ますます進んでいくと、将来の安定供給を維持することが困難になる恐れがあります。

今後も医療機関に安定的に血液を供給するためには、特に若い世代の献血へのご理解とご協力が不可欠になっています。

●三重県の市町別献血状況

【献血バス】

市町名		400mL 献血者数	稼働数※	1稼働あたり の献血者数	献血者 対R6年度比
桑名市		1,759	41.4	42.5	95.8%
いなべ市		929	21.3	43.6	96.3%
桑名郡	木曽岬町	81	1.8	45.0	109.5%
員弁郡	東員町	433	10.2	42.5	92.5%
三重郡	菰野町	384	9.9	38.8	103.5%
	朝日町	86	3.1	27.7	74.1%
	川越町	169	5.4	31.3	64.5%
桑名保健所管内		3,841	93.1	41.3	93.8%
四日市市		3,003	76.5	39.3	98.6%
四日市市保健所管内		3,003	76.5	39.3	98.6%
鈴鹿市		4,174	93.8	44.5	99.3%
亀山市		589	15.9	37.0	95.0%
鈴鹿保健所管内		4,763	109.7	43.4	98.7%
津市		3,845	89.7	42.9	96.7%
津保健所管内		3,845	89.7	42.9	96.7%
松阪市		2,323	52.7	44.1	102.9%
多気郡	多気町	197	4.2	46.9	135.9%
	明和町	451	10.8	41.8	153.4%
	大台町	99	2.2	45.0	80.5%
松阪保健所管内		3,070	69.9	43.9	108.9%
伊勢市		1,466	35.6	41.2	114.6%
鳥羽市		186	5.4	34.4	86.1%
志摩市		429	9.0	47.7	99.5%
度会郡	玉城町	410	8.8	46.6	83.8%
	度会町	32	1.5	21.3	59.3%
	南伊勢町	87	3.0	29.0	95.6%
	大紀町	37	0.8	46.3	84.1%
伊勢保健所管内		2,647	64.1	41.3	101.7%
伊賀市		1,820	44.0	41.4	94.1%
名張市		600	14.0	42.9	108.7%
伊賀保健所管内		2,420	58.0	41.7	97.3%
尾鷲市		169	4.6	36.7	107.0%
北牟婁郡	紀北町	116	2.4	48.3	113.7%
尾鷲保健所管内		285	7.0	40.7	109.6%
熊野市		233	5.0	46.6	83.5%
南牟婁郡	御浜町	83	2.0	41.5	88.3%
	紀宝町	79	2.0	39.5	86.8%
熊野保健所管内		395	9.0	43.9	85.1%
献血バス 計		24,269	577.0	42.1	98.8%

【献血ルーム】

	献血者数				稼働数※	1稼働あたり の献血者数	対R6年度比 献血数
	400mL	200mL	成分	計			
血液センター	3,710	34	8,129	11,873	309	38.4	102.5%
四日市献血ルーム	6,486	234	10,337	17,057	360	47.4	98.7%
伊勢献血ルーム	3,501	23	6,633	10,157	310	32.8	97.8%
献血ルーム 計	13,697	291	25,099	39,087	979	39.9	99.6%

総 計	37,966	291	25,099	63,356	1,556	40.7	99.3%
-----	--------	-----	--------	--------	-------	------	-------

※稼働数とは、市町では献血バスの稼働台数、固定施設では開設日数を指す。

●三重県の居住地別献血状況

市町名		献血者数			
		400mL	200mL	成分献血	計
桑名市		2,140	26	911	3,077
いなべ市		938	6	347	1,291
桑名郡	木曽岬町	70	1	20	91
員弁郡	東員町	452	9	136	597
三重郡	菰野町	905	14	358	1,277
	朝日町	229	8	192	429
	川越町	336	2	204	542
桑名保健所管内		5,070	66	2,168	7,304
四日市市		6,385	112	6,017	12,514
四日市市保健所管内		6,385	112	6,017	12,514
鈴鹿市		4,214	32	2,499	6,745
亀山市		1,112	3	669	1,784
鈴鹿保健所管内		5,326	35	3,168	8,529
津市		6,022	41	4,837	10,900
津保健所管内		6,022	41	4,837	10,900
松阪市		3,211	2	1,364	4,577
多気郡	多気町	308	1	211	520
	明和町	605	1	478	1,084
	大台町	167	0	62	229
松阪保健所管内		4,291	4	2,115	6,410
伊勢市		3,223	14	3,246	6,483
鳥羽市		332	3	317	652
志摩市		747	3	458	1,208
度会郡	玉城町	433	0	320	753
	度会町	180	1	138	319
	南伊勢町	176	0	173	349
	大紀町	95	0	88	183
伊勢保健所管内		5,186	21	4,740	9,947
伊賀市		1,681	1	399	2,081
名張市		957	0	157	1,114
伊賀保健所管内		2,638	1	556	3,195
尾鷲市		202	0	34	236
北牟婁郡	紀北町	174	1	42	217
尾鷲保健所管内		376	1	76	453
熊野市		206	0	19	225
南牟婁郡	御浜町	92	0	11	103
	紀宝町	94	0	3	97
熊野保健所管内		392	0	33	425
県外在住者		2,280	10	1,389	3,679
計		37,966	291	25,099	63,356

三重県献血功労者表彰式

日時：令和7年8月19日(火)
場所：三重県総合文化センター

三重県、日本赤十字社三重県支部、三重県赤十字血液センターは献血運動の一層の推進を目的に「三重県献血功労者表彰式典」を開催し、献血にご功労のあった方々を表彰しています。

厚生労働大臣表彰状…2団体

献血運動の推進に関し、過去に大臣感謝状の贈呈を受け、その実績が特に優秀で、他の模範と認められる団体又は個人に対して贈呈されます。

- ◆住友電装株式会社 四日市塩浜開発技術センター
- ◆宇野重工株式会社

厚生労働大臣感謝状…5団体

献血運動の推進に関し、過去に知事表彰又はこれに準ずる表彰を受け、その実績が特に優秀で、他の模範と認められる団体又は個人に対して贈呈されます。

- ◆株式会社NTN三重製作所
- ◆株式会社八神製作所 津営業所
- ◆株式会社中部プラントサービス 三重総合事務所
- ◆株式会社志摩スペイン村
- ◆旭電器工業株式会社 河芸工場

三重県知事感謝状…7団体、個人111名

献血運動の推進に著しい功績又は血液の確保に多大な貢献があった団体又は個人に対して贈呈されます。

- ◆長島観光株式会社
- ◆公益社団法人 松阪青年会議所
- ◆株式会社 神戸製鋼所 大安製造所
- ◆陸上自衛隊 明野駐屯地
- ◆パナソニック ライティングシステムズ株式会社 伊賀工場
- ◆株式会社 UL Japan

他 1 団体

日本赤十字社 社長感謝状…5団体

金色有功章受賞後、引き続き活動に従事し、その功労が顕著で他の範となるものと認められる場合、当該従事年数が10年に達した都度、贈呈されます。

- ◆ニプロファーマ株式会社 伊勢工場
- ◆ホンダオートボディー株式会社
- ◆住友電装株式会社 津製作所
- ◆三重県伊賀警察署
- ◆一般社団法人 鳥羽青年会議所

日本赤十字社有功章

金色有功章…8団体、個人113名

献血回数100回以上の献血者並びに献血活動継続年数20年以上の献血団体・献血推進団体及び献血推進者に授与されます。

- ◆株式会社ジェイテクト 亀山工場
- ◆オムロン ヘルスケア株式会社 松阪事業所
- ◆三重県名張警察署
- ◆三重県四日市南警察署
- ◆国立大学法人 三重大学
- ◆丸亀産業株式会社
- ◆ヤマモリ株式会社 松阪工場
- ◆熊野精工株式会社

銀色有功章…8団体、個人161名

献血回数70回以上の献血者並びに献血活動継続年数15年以上の献血団体・献血推進団体及び献血推進者に授与されます。

- ◆松阪ライオンズクラブ
- ◆味の素株式会社 東海事業所
- ◆大栄ホールディングスグループ
- ◆イオンタウン津城山
- ◆三重県津警察署
- ◆イオンリテール株式会社 イオン大安店
- ◆株式会社デンソートリム
- ◆伊賀市消防本部

日本赤十字社三重県支部 支部長感謝状

金柀…3団体

過去に銀柀を受け、献血活動継続年数10年以上の献血団体・献血推進団体及び献血推進者に授与されます。

- ◆三重県津南警察署
- ◆三重県いなべ警察署
- ◆三重県松阪警察署

銀柀… 令和7年度対象者なし

献血活動継続年数5年以上の献血団体・献血推進団体及び献血推進者に授与されます。

キッズ献血

三重県赤十字血液センターでは、3歳以上のお子さんとその保護者を対象とした「キッズ献血」を開催しています。

キッズ献血は実際の献血の流れを疑似体験する「まねっこ献血」を通じて、献血の大切さを知ってもらうイベントです。

昨年は、鈴コミ防災まつり(鈴鹿市)で実施しました



ふるさと企業 献血応援キャンペーン

三重県の献血を盛り上げるべく、県内の企業・団体様からご協賛をいただき、「ふるさと企業献血応援キャンペーン」を実施しています。

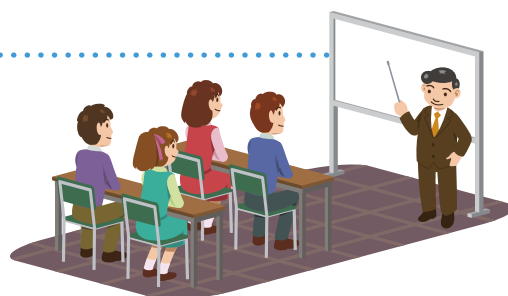
昨年も多くの企業様にご支援をいただいたことにより、多くの方に献血にご協力いただくことができました。



献血セミナー

高等学校・大学・専門学校等の学生の皆様に献血のことを知って、身近に感じてもらうため、三重県赤十字血液センター職員による「献血セミナー」を実施しています。

令和7年度は県内の68校で実施しました。



三重県学生献血推進連盟 「みえっち」

学生間の交流を図りながら、献血への理解を含め、献血を推進していくことを目的に三重県赤十字血液センターでは、県内の大学生ボランティアとともに献血の普及啓発を行っています。

月1回開催する定例会では、呼びかけに使う看板づくりや会議の報告等を行っています。



ヤングミドナサポーター

三重県では毎年、学校等において献血啓発活動に参加していただく献血ボランティアの「ヤングミドナサポーター」を募集しています。

「キッズ献血」やショッピングセンターなどでの献血の呼びかけを手伝っていただきました。

令和7年度は609名の方が活動しました。



三重県献血キャラクター
「ミドナ」

学生献血推進ボランティアによる 献血キャンペーン

若年層の献血の輪を広げ、献血者数の増加を図るため、学生献血推進ボランティアによる東海北陸ブロック統一のキャンペーンを夏と冬の2回にわたり開催しています。

三重県赤十字血液センターは、三重県学生献血推進連盟「みえっち」が主体となって活動しています。

お手製のプラカードで献血協力への呼びかけをし、季節にちなんだ記念品を作製するなど積極的に取り組んでいます。



献血基準と 検査成績のお知らせ

献血基準

健康な方であれば、献血による身体への影響はほとんどありません。

しかし、体調を崩していたり健康状態の良くない時に献血をすると、健康を損ねる場合もあります。

献血者の健康を守り、また輸血を受けられる方の安全を高めるために、さまざまな基準を設けています。

採血の種類		全血採血		成分採血	
		200mL	400mL	血漿	血小板
1回採血量		200mL	400mL	600mL以下(循環血液量の12%以内)	
年齢	16～69歳	男性:17～69歳 女性:18～69歳		18～69歳	男性:18～69歳 女性:18～54歳
	ただし、65～69歳の方については、60歳に達した日から65歳に達した日の前日までの間に採血が行われた方に限る。				
体重	男性45kg以上 女性40kg以上	男女50kg以上		男性45kg以上 女性40kg以上	
最高血圧	90mmHg以上180mmHg未満				
最低血圧	50mmHg以上110mmHg未満				
脈拍	40回/分以上100回/分以下				
体温	37.5℃未満				
血色素量		男性:12.5g/dL以上 女性:12.0g/dL以上	男性:13.0g/dL以上 女性:12.5g/dL以上	12.0g/dL以上 (赤血球指数が ⁴ 標準域*にある 女性:11.5g/dL以上) *標準域 MCV:81～100(fL) MCH:26～35(pg) MCHC:31～36(%)	12.0g/dL以上
血小板数		—	—	—	15万/μL以上 60万/μL以下
採血間隔	〔前回採血〕				
	200mL全血	男女とも4週間後の同じ曜日から			
	400mL全血	男性は12週間後、 女性:16週間後の同じ曜日から		男女とも8週間後の同じ曜日から	
	血漿成分	男女とも2週間後の同じ曜日から なお、血小板成分採血では、血漿を含まない場合1週間後に血小板成分献血が可能。 ただし、4週間後に4回実施した場合には次回までに4週間あける。			
	血小板成分				
年間※総採血量 (1年は52週として換算)		200mL・400mL全血を合わせて 男性 1,200mL以内 女性 800mL以内		—	—
年間※採血回数 (1年は52週として換算)		男性6回以内 女性4回以内	男性3回以内 女性2回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して 血漿成分献血と合計で24回以内	
共通事項		次の方からは採血しない。 ①妊娠していると認められる方、又は過去6ヵ月以内に妊娠していたと認められる方 ②採血により悪化するおそれのある循環系疾患、血液疾患その他の疾患に罹っていると認められる方 ③有熱者その他健康状態が不良であると認められる方			

※期間の計算は直近の採血を行った日から起算します。

検査成績のお知らせ

血液センターでは、献血にご協力いただいた方々への感謝の気持ちとして、7項目の生化学検査成績と8項目の血球計数検査成績についてお知らせしています。

献血Web会員サービス「ラブラッド」の会員の方は、献血後2～5日程度でWeb上で検査成績を確認できます。

ラブラッド非会員の方で、献血受付時に郵送による通知を希望された方は、献血後1～2週間で親展にてお知らせしています。

なお、献血受付時に郵送による通知を希望された方も、ラブラッド登録後は郵送による通知は停止され、Web上での確認方法へ自動的に切り替えさせていただいております。

生化学検査および血球計数検査欄に記した基準値は、献血された方々の検査結果から算定したもので、正常または異常を表すものではありません。また、受付時に、B型・C型・E型肝炎検査、梅毒検査、HTLV-1抗体検査の結果通知を希望された方には、異常を認めた場合献血後1ヵ月以内に親展(書簡の郵便)にてお知らせします。

昭和 39 年 08 月	輸血用血液は、献血により確保することを閣議で決定
昭和 39 年 12 月	三重県献血推進協議会発足
昭和 40 年 01 月	伊勢市御園町 810 番地山田赤十字病院内に三重県赤十字血液センター開設
昭和 40 年 07 月	津市塔世 1090 番地 1 に移転
昭和 43 年 09 月	津市栄町 1 丁目 171 番地三重県合同ビル内に新築移転
昭和 43 年 12 月	日本赤十字社名誉副総裁 高松宮妃殿下が三重県赤十字血液センターをご視察
昭和 44 年 06 月	四日市市塩浜町 1 番地三重県立塩浜病院内に三重県赤十字血液センター四日市出張所開設
昭和 47 年 04 月	HBs 抗原（B 型肝炎）検査開始
昭和 51 年 08 月	三重県赤十字血液センター四日市出張所廃止
昭和 59 年 08 月	津市桜橋 2 丁目 191 番地に三重県赤十字血液センター新築移転
昭和 59 年 11 月	三重県内献血者累計 100 万人達成
昭和 61 年 10 月	AIDS 及び HTLV-1（エイズ及び成人 T 細胞白血病）抗体検査開始
昭和 62 年 01 月	400mL 献血及び成分献血開始
平成 元年 12 月	HCV 抗体・HBc 抗体・HBs 抗体検査開始
平成 02 年 10 月	山田赤十字病院内に献血ルーム「ハートワン」開設
平成 04 年 09 月	赤血球 MAP の製造および供給開始
平成 04 年 09 月	中部近鉄百貨店四日市店内に献血ルーム「サンセリテ」開設
平成 05 年 03 月	HIV-2（エイズウイルス 2 型）抗体検査開始
平成 05 年 11 月	三重県内献血者累計 200 万人達成
平成 06 年 07 月	日本赤十字社名誉副総裁 皇太子同妃両殿下が三重県赤十字血液センターをご視察
平成 06 年 07 月	第 30 回献血運動推進全国大会が三重県で開催
平成 07 年 04 月	赤血球 MAP の有効期間を「採血後 42 日間」から「採血後 21 日間」へ短縮
平成 08 年 09 月	血液検査用検体の凍結保存を開始
平成 09 年 08 月	三重県献血キャラクター 愛称「ミドナ」発表
平成 09 年 08 月	ヒトパルボウイルス B-19 検査開始
平成 10 年 06 月	放射線照射血液製剤の供給開始
平成 11 年 04 月	献血年齢の上限が条件付きで 64 歳から 69 歳に延長
平成 11 年 10 月	ウイルス（HBV、HIV、HCV）を直接検出する核酸増幅（NAT）検査開始
平成 11 年 11 月	HTLV-1 抗体検査陽性者へ結果通知を開始（通知希望者のみ）
平成 14 年 07 月	近鉄四日市駅前スターアイランド 4 階に献血ルーム「サンセリテ」移転
平成 15 年 04 月	HBc 抗体検査陽性者への結果通知を開始（通知希望者のみ）
平成 15 年 06 月	血液製剤適及調査開始
平成 15 年 07 月	安全な血液製剤の安定供給の確保に関する法律が施行
平成 15 年 08 月	血液製剤受注管理システム導入
平成 16 年 10 月	検査目的の献血防止対策の一環として献血受付時の本人確認の実施
平成 16 年 10 月	血小板血液製剤の白血球除去を開始
平成 17 年 08 月	6 ヶ月間（180 日間）貯留保管した新鮮凍結血漿を供給開始
平成 18 年 03 月	成分献血由来の新鮮凍結血漿血液製剤の白血球除去を開始
平成 18 年 06 月	三重県内献血者累計 300 万人達成
平成 18 年 10 月	献血者健康被害救済制度を開始
平成 19 年 01 月	初流血除去対応採血キットの導入
平成 19 年 01 月	全血採血由来保存前白血球除去キットの導入
平成 19 年 05 月	検査部門を愛知センターに集約化
平成 19 年 11 月	血小板血液製剤の有効期限が 72 時間から 4 日間に延長
平成 20 年 04 月	感染症検査を CLA 法に変更
平成 21 年 03 月	糖尿病関連検査（グリコアルブミン検査）のサービス通知開始
平成 21 年 04 月	製剤部門を愛知センターに集約化
平成 23 年 04 月	男性のみ 400mL 献血可能年齢を 18 歳から 17 歳に緩和
平成 23 年 04 月	男性のみ血小板献血可能年齢を 54 歳から 69 歳に引き上げ
平成 24 年 02 月	ミタス伊勢に献血ルーム「ハートワン」移転
平成 24 年 04 月	東海北陸ブロック血液センター事業開始（広域体制化による製造検査等集約化）
平成 24 年 10 月	シャーガス病に対する安全対策の実施開始
平成 25 年 01 月	「献血の同意説明書」を配布し、同意有無の確認を開始
平成 26 年 08 月	個別検体による NAT（個別 NAT）スクリーニングを導入
平成 27 年 01 月	三重県赤十字血液センター開設 50 周年
平成 29 年 02 月	献血ルーム「ハートワン」5 周年記念式典を実施
平成 29 年 02 月	イオンモール東員にて「LOVE in Action プロジェクト」ご当地イベントの開催
平成 29 年 03 月	成分採血の血漿採取量の上限を 600mL 以下に変更
令和 02 年 02 月	ララスクエア（現：トナリエ）四日市 5 階に献血ルーム「サンセリテ」移転
令和 04 年 02 月	献血ルームを含め全ての施設で全血採血の採血前検査を指先穿刺に変更
令和 05 年 03 月	赤血球製剤の有効期間を「採血後 21 日間」から「採血後 28 日間」に延長
令和 06 年 04 月	津市あかつき 4 丁目 8-5 に三重県赤十字血液センター新築移転
令和 07 年 07 月	血小板への細菌混入に対する安全対策として「細菌スクリーニング検査」の導入
令和 07 年 07 月	有効期間を「採血後 6 日間」に延長した血小板製剤の供給を開始
令和 08 年 01 月	献血カード、献血手帳の新規発行、更新を終了。献血 Web 会員サービス「ラブラッド」へ献血記録等の機能を集約
令和 08 年 04 月	献血ルーム「ハートワン」の定休日を水曜日に変更

四日市献血ルーム「サンセリテ」

〒510-0075 三重県四日市市安島 1-3-31
トナリエ四日市 5 階
TEL 059-355-5863 ☎ 0120-39-5863

【受付時間】《全血》10:00 ～ 11:45 / 13:00 ～ 17:30
《成分》10:00 ～ 11:00 / 13:00 ～ 17:00

【定休日】年末年始

【交通】近鉄四日市駅から徒歩約 5 分

【駐車場】有（トナリエ四日市駐車場をご利用ください）



三重県赤十字血液センター

〒514-0003 三重県津市あかつ台 4 丁目 8 番地 5
TEL 059-273-6702 ☎ 0120-05-5632

【受付時間】《全血》9:00 ～ 11:45 / 13:00 ～ 16:30
《成分》9:00 ～ 11:00 / 13:00 ～ 16:00

【定休日】火曜、年末年始

【交通】JR・近鉄津駅から三交バスで約 25 分

【駐車場】有（駐車場をご利用ください）



伊勢献血ルーム「ハートワン」

〒516-0008 三重県伊勢市船江 1-471-1
ミタス伊勢内
TEL 0596-25-7821 ☎ 0120-25-7821

【受付時間】《全血》9:30 ～ 12:15 / 13:30 ～ 17:00
《成分》9:30 ～ 11:30 / 13:30 ～ 16:30

【定休日】水曜、年末年始

【交通】JR・近鉄伊勢市駅から徒歩約 15 分

【駐車場】有（ミタス伊勢内の駐車場をご利用ください）



情報発信

三重県赤十字血液センターホームページ

キャンペーンのお知らせや、献血ルーム・献血バス会場のご案内、献血についての知識等、幅広い内容で情報発信を行っています！

パソコンやスマートフォンからのアクセスで手軽にご覧いただけます！

◆ホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/mie/>



公式Facebook・X・LINE・Instagram

キャンペーン・イベントの情報や献血に関する情報をリアルタイムにお伝えしています。



献血 Web 会員サービス「ラブラッド」

ご登録いただくと、簡単に献血の予約ができるようになり、血液の検査結果もいち早くわかるようになります。

また、全国共通のポイント制度の導入により、20ポイントで記念品が交換できるほか、住所変更等のお手続きも行いうことが可能です。

◆ご登録はこちらから(Web版)
<https://www.kenketsu.jp/>

Web 版



※AppleおよびAppleロゴは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
※Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。